

記号	名称	意味	弾き方
↗	上滑音 (Shang Hua Yin) 「ポルトメント」	装飾音 低い音から高い音への滑りの音	左手の指を滑らせて、低い音から高い音へ、音を途切れさせずに高さを変える。滑音を入れるときには、①時間 (拍、ターミング) ②指 ③弓 の3つの要素を意識する。 例えば「 $\overset{\text{h}}{3}$ $\overset{\text{v}}{6}$ 」の場合は、「3」の音は、その拍内は十分に音を出し、滑音は、①「6」の音の拍内で、②二の指で、③推弓で入れることになる。 「 $\overset{\text{h}}{3}$ $\overset{\text{v}}{6}$ 」の場合の滑音は、①「3」の音の拍内で、②一の指で、③拉弓で入れ、「6」の音は、拍の頭から出す。 他にも、「 $\overset{\text{h}}{3}$ $\overset{\text{v}}{6}$ 」など、滑音の入れ方は、上記の①②③の3つの要素を、そのつど判断していく必要がある。
↘	下滑音 (Xia Hua Yin) 「ポルトメント」	装飾音 高い音から低い音への滑りの音	左手の指を滑らせて、高い音から低い音へ、音を途切れさせずに高さを変える。滑音を入れるときには、①時間 (拍、ターミング) ②指 ③弓 の3つの要素を意識する。 例えば「 $\overset{\text{h}}{6}$ $\overset{\text{v}}{3}$ 」の場合は、「6」の音は、その拍内は十分に音を出し、滑音は、①「3」の音の拍内で、②一の指で、③推弓で入れることになる。 「 $\overset{\text{h}}{6}$ $\overset{\text{v}}{3}$ 」の場合の滑音は、①「6」の音の拍内で、②二の指で、③拉弓で入れ、「3」の音は、拍の頭から出す。 他にも、「 $\overset{\text{h}}{6}$ $\overset{\text{v}}{3}$ 」など、滑音の入れ方は、上記の①②③の3つの要素を、そのつど判断していく必要がある。
↻	回滑音 (Hui Hua Yin) 「回転滑音」	装飾音	初めにこの記号がづく音を出し、指を滑らせて音の高さを変えた後、再び指を滑らせて元の音を出す。 例えば、「6」についている場合は、拍の頭で「6」の音を出し、「6」より低い音の方向へ指を滑らせ、再び指を滑らせて戻し、「6」の音を出す。